

# YAMAさんの江ノ島・鎌倉レポート

あれから1年半を過ぎてしまいました。宴席でアルコールの勢いからお約束した「江ノ島・鎌倉レポート」第一報としてお届けします。

40年を越える臆気な記憶では、上野駅に降り東京見物を楽しみ、本郷(?)の宿に一泊した翌日、羽田空港 京浜工業地帯(川崎・横浜)を経て、鎌倉に入りました。ヨネ...

## 鎌倉

横浜郊外の自宅から、JRを乗り継いで鎌倉入り、最近の古都ブーム、ウォーキングブームを反映してか、スニーカーにリュック姿の年輩グループも多く見掛ける車中でした。

鎌倉でのチェックポイントは2地区。「鶴ヶ岡八幡宮を中心に円覚寺、建長寺と言った古寺、名園の多い北部地区」と「大仏様、長谷観音のある海岸に近い南部地区」です。

まずは、鎌倉駅に近い「若宮大路」をのんびりと歩き「鶴ヶ岡八幡宮」へ。周囲の建物は近代化されていますが、古都の風情を残す、正月のTVでもお馴染みの「鎌倉」を代表する景色が続きます。



境内に入り、石畳と砂利を踏みしめながら歩くとすぐ目にとび込んで来るのがこの風景。

急な階段と左手の大銀杏、朱の建物はどこか記憶にある風景では...

ここから北鎌倉方面に向かうと円覚寺、建長寺、北東方面には鎌倉宮、瑞泉寺と言った古寺、名園もあり、古都メグリの中心となっています。



運が良ければ( )こんな風景に会えるかも...

時間がゆるせば、鎌倉彫りの店やお土産屋さんをのぞきたい所ですが、今回はいそぎ旅。次のポイントへは江ノ電にゆられてゆく事にします。



今回のレポート、手元に当時の資料がなく、乏しい記憶を呼び戻しながらのもの。とりあえず、小菅さんからお借りしてきた「当時の記念写真」二枚を手にも自宅を飛び出しました。

しかもわずか数時間での駆け足調査。その数年後には上京し東京(横浜)暮らしの方が長い私にとっては、後の記憶と重なる部分も多く混乱した所があるかも...

## 鎌倉 . . . 大仏さま

鎌倉駅に戻り、江ノ島行「江ノ電」に。このまま江ノ島へという所ですが、「長谷」駅で途中下車。お借りした貴重な写真の一枚の場所を訪ねて見ることに. . .。

ここは海岸に近い鎌倉の南部地区、由比ヶ浜、長谷(観音)、極楽寺(坂)、稲村ヶ崎といった「どこかで聞いた気がする地名」が見られます。

「長谷駅」から長谷観音、そして目的の場所「露座の大仏」へは町並みを抜ける徒歩の旅になります。「大仏」に近づくと観光バスやガイドさんも見掛け何か懐かしい雰囲気になりました

写真と比べると、周囲は整備され、緑も一段と深くなったような気がします。大仏さんとその前で記念写真を撮る風景は健在でした。



よく考えたら「これ」動くはず  
ないんです. . .。

長谷駅に戻り再び江ノ電に。片瀬海岸をバスでと言いたい所ですが、ほとんど併行して走る電車から海を眺めながらこのレポート本当の目的地「江ノ島」へ。

## 江ノ島

私自身ここ数年訪れていない江ノ島。最近のガイドに「洗心亭」の名が見られなくなって何となく不安な気持ちで駅に降り、海岸に向かう通りへ。

「ない」。夜、僅かなお小遣いを握り、お土産を探し回ったあの通りが無いんです。道幅はあまり変わっていない様にも思える道、両脇には近代的なマンションやビルが立ち並び普通の小さな駅前通りに大変身してしまっています。旅館「洗心亭」の名前を見る事も出来ません。



島への橋が歩行者用と車専用の二本のコンクリート橋(道路)に変わった事など、変化は予想していたものの、その変わり様に戸惑いながらもとりあえず、二枚目の写真のポイント海岸の浜辺に。

橋は近代化され護岸整備も行き届いていますが、浜辺はそのまま. . . .。



ここだけは背景を置き換えてもなんとなく似合う景色に、ほっと一息。

島の左手、岩場が大きく埋め立てられて「ヨットハーバー」になっています。

## 弁天橋を渡り島内へ。

かけ替えられた弁天橋を渡り島内に。横の大橋を車が通り過ぎてゆきます。

島の入り口、正面の急な石畳の坂と両脇に残る昔風の店に当時の面影を残していますが、左手の埋め立て部分には、近代的な土産物屋や食堂が並びます。



対岸を振り返ると、正面に見えたのがこの風景。



左手の少し小さい建物が旅館「洗心亭」のあった所。すでに旅館はなく、近代的マンションに。右手の大きな建物との間が駅へ向かう「あの通り」になります。

お土産屋を抜けて島のとっぺん展望台(灯台)へ向かう急な登り坂。今は三カ所の「エスカー」で一気の上まで行く事も...



頂上部分は植物園、プレーラント化され、昔を偲ぶ余地さえありません。

更におくの岩屋、稚児ヶ淵を訪ねたい所ですが、期待はずれの感も強く、そのまま元の道に戻ることに...

島の左手、ヨットハーバーの方へ、そこはマリッジスポットとして整備され、多くのヨットが係留されています。

その一画に「洗心亭」の名前がありました。

そこは、「洗心亭新館(?)」として後に建てられたものの様ですが、ここも今は営業をやめ、ただの「お食事処」となっており、宿泊は出来ないとの事です。

江ノ島については残念ながら昔を懐かしむ余地はほとんどなく、やや落胆の念も強いまま帰路につくことになりました。

「江ノ島での再会」を探るための今回のレポート行、残念ながら「再考の要あり」が結論。

しかし「鎌倉」は、長野から新幹線で3時間ほどの旅。是非一度訪ねていただき、昔を懐かしみながら散策していただく価値あり(地元居住者としても)とお勧めします。

近くには、「横浜」を始めいくつかの観光スポットもあります。また、「箱根方面」まで一寸足をのばして見るのも面白い旅になると思いますが...

少々企画の練り直しが必要になりますが、是非の実現を楽しみにしております。なお、個人的にも訪ねて見たいと興味を持たれた方はご相談下さい。時間のゆるす限りお手伝いさせていただきます。(本レポートの責任上...)

最後は少々残念な締めくくりになりましたが、とりあえず第一報とさせていただきます。 YamaSan